

山形県の

先進事例紹介

企業組合による創業・再チャレンジ

TV電話を使った手話通訳
サービスで人と人をつなぐ

NTC企業組合

住 所	〒990-2473 山形市松栄1-3-8 山形県産業創造支援センター内		
電話番号	023-615-8400	F A X	023-615-8411
設 立	平成18年4月	出 資 金	4,000千円
主な業種	テレビ電話による手話・外国語通訳事業		
組合員数	4人	従事組合員	2人
U R L	http://www.tv-phone289.co.jp/		

手話を必要とする聴覚障がい者は、意思疎通の困難さから様々な施設利用やサービスを気軽に享受しにくく、積極的な社会進出の意欲を抑制されている。この現状を改善し、性格の改善と積極的な社会進出を支援するために、手話通訳サービスの事業化に着手し、平成18年4月に企業組合を設立してサービスを開始した。

組合員4人のうち、代表理事と専務理事の2人が主に事業を担当している。他に手話通訳を担当するパートと外国語通訳を担当する大学の外国人留学生を登録し活用している。県のインキュベーション施設内に事務所兼コールセンターを設置しており、ブース内で手話通訳を行っている。テレビ電話の画面を通じて、担当者が翻訳（手話⇄言葉、日本語⇄外国語）し、相手に伝えるシステムである。

聴覚障がい者や利用企業は、テレビ電話を購入する必要があるが、聴覚障がい者については県内自治体から補助が受けられるため少ない負担で導入することが可能である。サービスの利用料については、聴覚障がい者は無料、企業については、利用するサービスの種類に応じて料金が設定されている。

多くの聴覚障がい者に大変喜んでもらえたことが最大の成果。生活の様々な局面で不便を強いられていたが、このサービスの開始により、良いコミュニケーションがとれるようになった。

また、テレビ電話は定額で使い放題のため、聴覚同士が時間を気にせず話し合えるというメリットも生まれた。口コミで利用者が拡大し、県内全域で50～60名が日常的に利用しており、他にも山形市役所と市内のホテルに導入されている。

ITを活用した公益性の高いサービスということで、新聞などの各種メディアで取り上げられることが多く、企業の知名度も向上している。

